

令和4年上半期分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和4年上半期分について、輸出額は「航空機類」などが減少したものの、「電気計測機器」、「金属加工機械」、「鉄鋼」などが増加したことから、対前年同期比7.8%の増加となった。また、輸入額は「航空機類」などが減少したものの、「液化天然ガス」、「アルミニウム及び同合金」、「原粗油」などが増加したことから、同33.6%の増加となった。

その結果、差引額は3兆8,2851億円（同9.9%の減少）となった。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による
また、★印は全ての期を通じて過去最高を示す（1979年上半期以降のデータを基礎として比較）

○総額

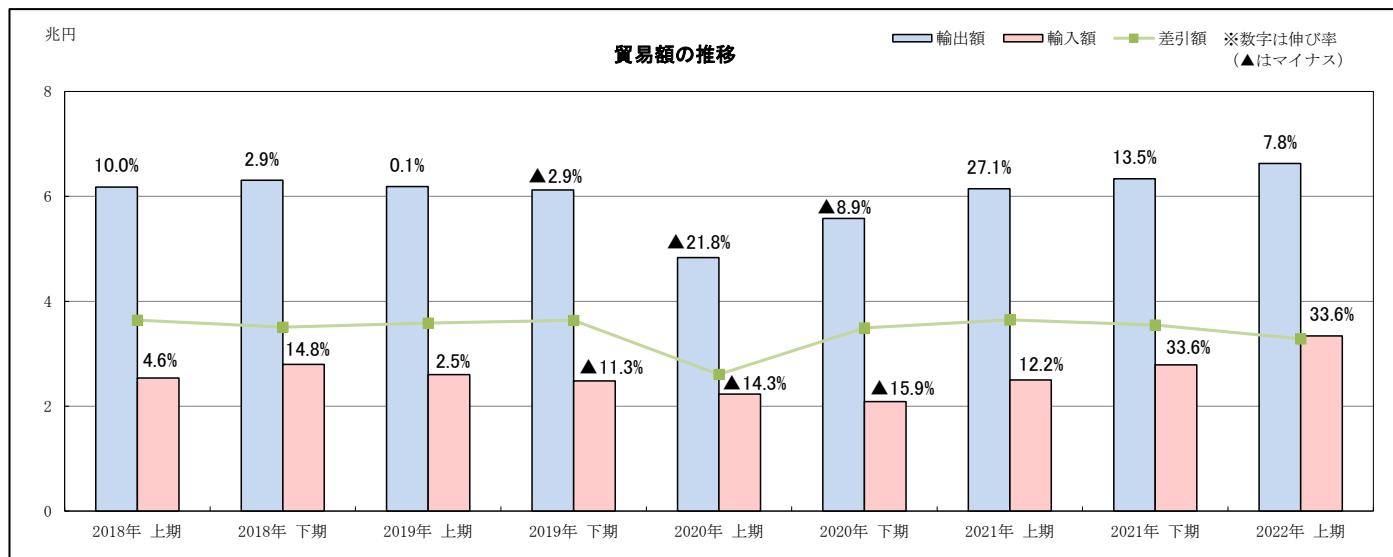
区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	★ 6兆6,265億円	+7.8%	★ 3兆3,414億円	+33.6%	3兆2,851億円	▲9.9%
	3期連続の増加		3期連続の増加		3期ぶりの減少	
管内（名港シェア）	10兆1,992億円 (65.0%)		6兆3,670億円 (52.5%)		3兆8,322億円 (—)	
全国（名港シェア）	45兆9,378億円 (14.4%)		53兆8,619億円 (6.2%)		▲7兆9,241億円 (—)	

注) 名古屋港における輸出額は、1999年上期以降（47期連続） 全国海港別第1位

注) 名古屋港における差引額は、1998年上期以降（49期連続） 全国港別（空港を含む）第1位

○主な増減品目

		概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	(1)	電気計測機器	2,393億円	+26.4%	+0.8	3期連続の増加
	(2)	金属加工機械	2,309億円	+27.2%	+0.8	3期連続の増加
	(3)	鉄鋼	★ 1,779億円	+24.8%	+0.6	3期連続の増加
輸入	(1)	航空機類	277億円	▲40.2%	▲0.3	5期連続の減少
	(1)	液化天然ガス	3,233億円	+105.0%	+6.6	2期連続の増加
	(2)	アルミニウム及び同合金	★ 2,146億円	+64.4%	+3.4	3期連続の増加
減少	(3)	原粗油	1,778億円	+35.2%	+1.8	3期連続の増加
	(1)	航空機類	61億円	▲41.0%	▲0.2	5期連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の置場所を管轄する次の税關官署を基準に集計しています。

名古屋港の税關官署とは、名古屋税關本關（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諒訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。